

横浜市の外国人人口が初めて10万人を超えました！

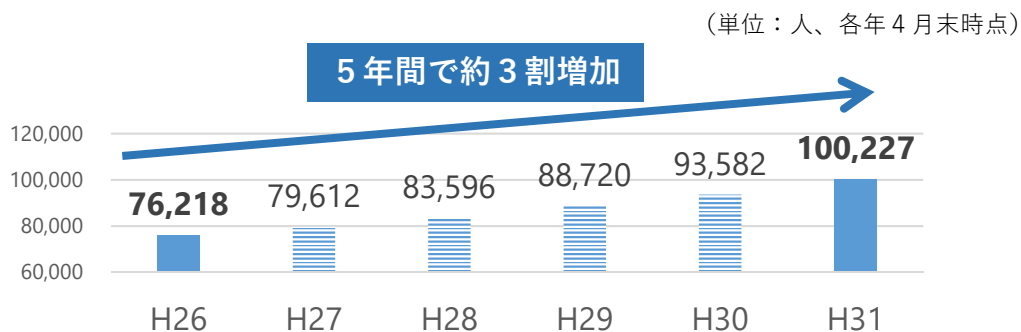
外国人材の受入れ・共生に向けた総合的な環境整備を一層推進し、
海外の皆様や企業から選ばれる都市を目指します。

平成31年4月末時点の横浜市の住民基本台帳に記載された外国人の人口が初めて10万人を超えました。全国の市区町村では大阪市に次いで2番目となります。

市内の外国人人口は、この5年間で約3割増加し、平成31年4月末時点で10万227人となりましたが、このたび平成31年4月に改正出入国管理法が施行されたことなどから、今後一層の増加が見込まれます。

外国人材の地域での円滑な受入に向け、外国人への総合的な情報提供・相談を行う拠点施設の開設による多言語での相談対応のほか、日本語学習支援、地域とのつながりづくり等、外国人への生活支援の拡充などに取り組み、受入環境の整備を進めます。

参考1 横浜市における外国人人口の推移



参考2 国と連携した外国人への総合的な窓口拠点施設の概要

国の「外国人受入環境整備交付金（法務省所管）」を活用し、外国人への総合的な情報提供や相談対応を行う窓口設置等、拠点施設の整備を進めます。

○ 事業内容及びスケジュール

- (1) 場所：横浜市国際交流協会（YOKE）内
- (2) 時期：令和元年8月開設予定
- (3) 拠点の機能：

- ア 多言語での専門的な相談対応、情報提供及び関係機関への取次ぎ
- イ 各区の国際交流ラウンジへの専門的・多言語での相談対応における支援
- ウ 多言語に対応する自動翻訳機等の国際交流ラウンジへの貸与による支援



国際交流ラウンジでの相談

参考3 横浜市における外国人支援の主な取組例

○行政情報等の提供の多言語化

- ・ 外国人向け広報の充実（防災・ごみの出し方等）

○行政手続・生活相談の多言語対応

- ・ 国際交流ラウンジの設置（生活情報提供、相談、日本語教室の開催、通訳ボランティアの派遣、日本人との交流活動などを実施／市内11か所／H29年度相談件数：22,616件）

○日本語学習支援

- ・ 市民団体等による比較的小規模な地域日本語教室（約130教室）
- ・ 国際交流協会による日本語教室の運営支援、日本語ボランティア研修会

○児童生徒・保護者に対する支援

- ・ 日本語支援拠点施設「ひまわり」での学校ガイダンス、プレクラス、就学前教室の実施
- ・ 「国際教室」設置校における日本語指導、学校適応支援
- ・ 日本語指導資格をもった講師による「日本語教室」
- ・ 学校通訳ボランティア、母語による学習支援ボランティアの派遣
- ・ ガイドブック「受入れの手引き」、「学校通知文・用語対訳集」、「保護者向け学校紹介」の発行（7か国語対訳）

○防災・医療など緊急時の多言語対応

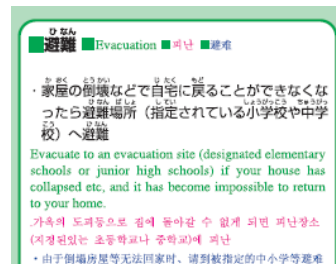
- ・ 横浜市外国人震災時情報センターの設置（災害発生時）
- ・ 神奈川県やNPO等との協力による医療通訳派遣事業

○地域社会とのつながりづくり

- ・ 外国人急増地域へのコーディネーター配置
- ・ 来日初期の方のための多言語冊子の作成

○外国人が地域で活躍できる機会の創出

- ・ 留学生受入れ環境の向上と市内大学等との連携による留学生の市内企業への就職支援



多言語防災リーフレット



日本語支援拠点施設「ひまわり」

お問合せ先

国際局政策総務課担当課長 関谷 聡 Tel 045-671-4700